

# 応用数値解析特論 第12回 スライド訂正・加筆

WWW に載せてある PDF ファイルでは直してあります。

- スライド 4 ページにレポート課題 B のことを書きました。
- スライド 7 ページ Q の説明で「, i.e.  $\Gamma_2 = \Gamma_3 = \emptyset$ 」を間違った方に入れていた。  
正しくは

$$Q := \begin{cases} \{q \in L^2(\Omega) \mid (q, 1) = 0\} & (\Gamma_1 = \partial\Omega, \text{ i.e. } \Gamma_2 = \Gamma_3 = \emptyset \text{ に}) \\ L^2(\Omega) & (\Gamma_1 \neq \partial\Omega). \end{cases}$$

- スライド 12 ページ

一方  $(\mathbf{u}, p)$  が問題 2 の解であれば、 $q = 0$  であるような  $(\mathbf{v}, q)$  について考えると  $a(\mathbf{u}, \mathbf{v}) + b(\mathbf{v}, p) = 0$  が導かれ、

は次が正しい。

一方  $(\mathbf{u}, p)$  が問題 2 の解であれば、 $q = 0$  であるような  $(\mathbf{v}, q)$  について考えると  $a(\mathbf{u}, \mathbf{v}) + b(\mathbf{v}, p) = (\mathbf{f}, \mathbf{v})$  が導かれ、

- スライド 15 ページ (1 箇所), 20 ページ (2 箇所) で、 $X(\mathbf{g}_1)$  を  $V$  と書き換えた (間違えたのではなくて、単にシンプルな記号にした、ということ)。